

2019年度インターゼミ 多摩学班 「多摩地域の産業から未来を描く ～住み続けたい街の実現に向けて」

学部生：遠藤、馬場、伊東、神尾、白井
大学院生、OB：菊永、高橋
教職員：長島先生、佐藤先生、荻野先生

1

2019年7月31日

今年度のリサーチクエスト

多摩地域が住み続けたい街であり続けるために
どうしたらよいのか？



「産業の視点」から分析しありたい姿の洞察へ

サステナブル(持続可能)な多摩地域のために何が必要なのか？
に向き合い大学生目線で提案させていただきます！

今日の報告事項

多摩学2019のリサーチクエスチョン

1. リサーチクエスチョンの経緯
2. 章立て案と現状までの報告
3. 今後のスケジュール
4. 文献リスト

1. リサーチクエスションの経緯

◆SDGsなど「**持続可能な社会**」のためには何か必要なのか？

◆あらためて**産業の視点**から分析して解決策を導き出したい！

※今までの研究ではなかった

【多摩地域が持続可能であるために】

◇近年、多摩地域を含むいわゆるベッドタウンで起こる大事件、社会的な課題の数々について、それらの事象とその要因は何なのか？

◇そこで言われる、家族や地域コミュニティのあり方の変化が「人の孤立化」を促したのではないのか？という仮説を持ち、今後ますます深刻化するこうした郊外エリア等の都市問題についても意識すべきと考える。

◇農地、織物～軍需産業の拠点として発展、ベッドタウン化して今日に至る沿革を「**産業の視点**」から読み解く

◇将来のありたいまちの姿を洞察し、**ジェロントロジー**の観点を背景に持ちながら、地域の抱えるそれを実現していくために必要なことを提言する

多摩地域の範囲



範囲：東京都多摩地域30市町村

※但し、歴史的なつながり、交通環境等を勘案し、神奈川県川崎市、横浜市、相模原市との関係性についても必要に応じて研究範囲に含める。

2 章立て案と現状までの報告

I 調査の趣旨

- ・ 背景と目的、調査方法などを精査していく

II 多摩地域を知る

- ・ 多摩地域の歴史から、人口動態の推移や交通機関などの変遷、地勢と街の変遷などを読み解く

III 現在の多摩地域の特性を見る

- ・ 多摩地域の現在の産業特性や変化を見て地域の現状を知る

IV 10年後の多摩地域の姿

- ・ 10年後の多摩地域の街・モノ・人、現在の姿から推測する

V 住み続けたい街の実現に向けて

- ・ 自分たちが住みたい街の実現に向けて提案をする。

意思疎通を図りながら分担作業

多摩地域を知る

多摩地域を知る

1. 軍需の拠点：多摩地域の今と昔一例

場所	以前の姿	現在の姿
日立航空機立川工場	軍用飛行機のエンジン工場	インドアテニス場などのスポーツ施設
立川飛行場 「立川、昭島」	多摩最大の軍都の中心をなした。当時は、ジェット燃料輸送に使われていた。のちに、各兵器や燃料、弾薬などの補給・整備・修理	当面は米軍立川基地だった。現在は国営昭和記念公園、ショッピングモール、ゴルフ場など様々
相模陸軍造兵廠 「相模原」	風船爆弾の製造、戦車や火砲、砲弾の製造	麻布大学や小学校、公園

2. 交通環境の変化と街の広がり

例:「京王電車」沿線地域の産業の発展

- 鉄道の開通、電燈・電気の供給は、沿線の各種産業の発展にも大きく貢献
- 沿線には広大な土地が広がっていたことから、大規模な工場も多数立地
- 戦時中は「東京調布飛行場」を中心に軍需に関わる工場や研究所も設置
- 戦後は、首都圏の人口増大に伴い、食品工場などの消費地立地型の工業も盛んになった。



3. 周辺地域との関係(例として川崎)

- 1869年に京浜間に鉄道敷設、以降企業を誘致して鉄道敷設の動き
- 1910年には町の発展をするために道路・水道などの整備を行い企業誘致の積極化
- 戦時下の工場は軍需が強めで重工業が盛ん。臨海地帯飽和状態→貨物輸送の利便に恵まれていた南武線沿線に工場新設が盛んになって行った。

多摩地域を知る

～軍需の拠点に位置付けられ発展した多摩地域

- ①青:武蔵野・三鷹・田無・保谷周辺:中島飛行機株式会社を核に、航空機用発動機を組立生産した地域、また横河電機や日本無線など電気や通信機器の組立生産を主とした地域
- ②赤:小平・国分寺・小金井・調布・狛江周辺:東京重機工業や中央工業南部銃製作所など造兵廠と結ぶほか、多くの民間企業が多様な兵器を生産した地域。軍事施設も多い地域。
- ③黄:立川・大和・昭和・拝島周辺:立川の陸軍飛行場と航空廠を中心に、陸軍用航空機組立の立川飛行機株式会社と発動機生産の日立航空機株式会社を中心とする地域と、海軍機用航空機組立の昭和飛行機株式会社との二つの航空機生産地域がある地域。

ハイテク
産業等の
可能性

調布飛行場周辺に残る戦闘機の
隠し場所「調布、三鷹、府中」

秘密工場の浅川地下壕「八王子」

- ④ベージュ:府中・日野・町田・稲城など多摩川沿い、多摩丘陵にかかる地域:軍用車輛・戦車・砲弾や火薬などが目立つ製品となり、日本製鋼・東京芝浦電機・日野自動車など民間企業が板橋や相模など陸軍造兵廠とかかわりをもち生産を続けた。

田奈弾薬庫「町田・横浜」

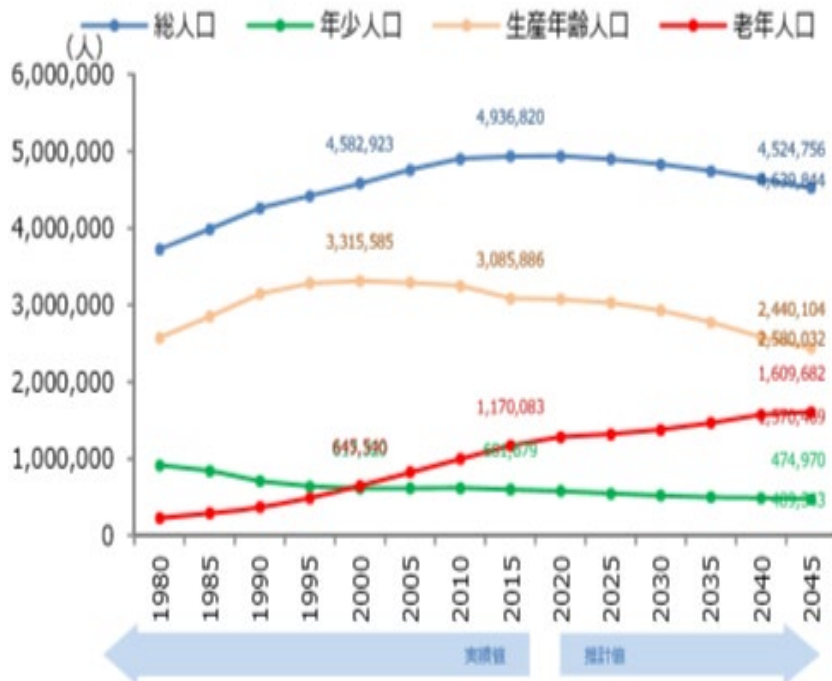


多摩地域を知る

～多摩地域の人口の推移とその特性

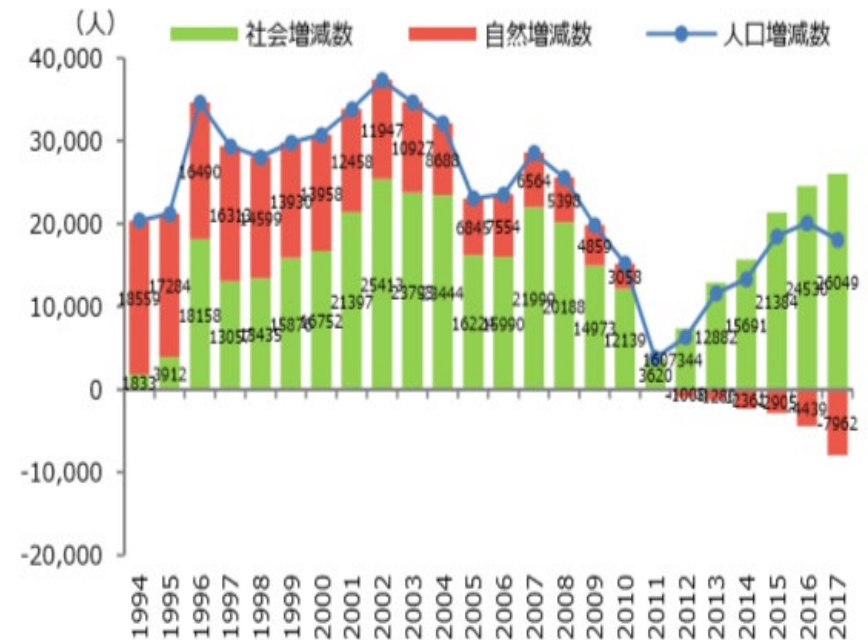
- 高齢化は急激に進む一方で、年少人口、生産年齢人口は徐々に減少していく予測。
- 社会増減は2011年に急激に減少をするが、その後持ち直し、2017年には期間中最大の数値を出している。自然増減は2011年を境に減少している。

多摩地域の人口推移



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成25年3月公表）に基づく推計値。

多摩地域の自然増減・社会増減の推移



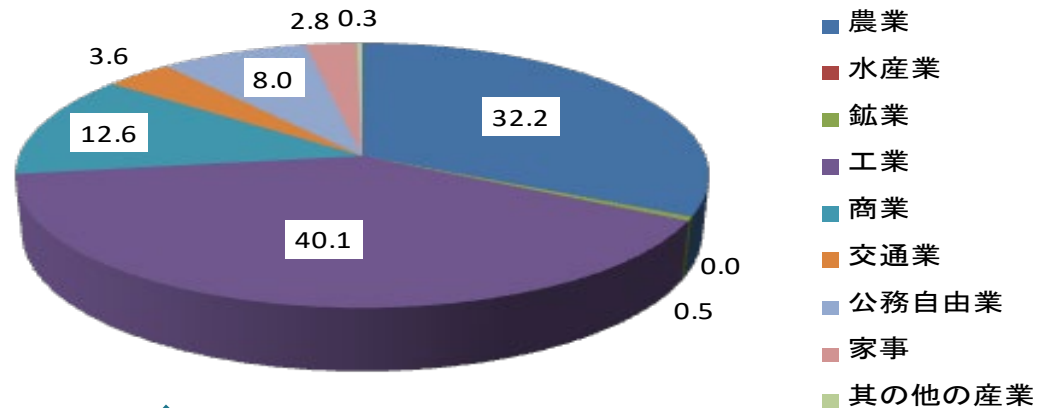
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成25年3月公表）に基づく推計値。

多摩地域を知る

～多摩地域の人口の推移とその特性

○昭和15年時点では工業が40.1%、農業が32.2%で、合計すると7割以上を占めていた。現在は三次産業を占める割合が大きくなっている。

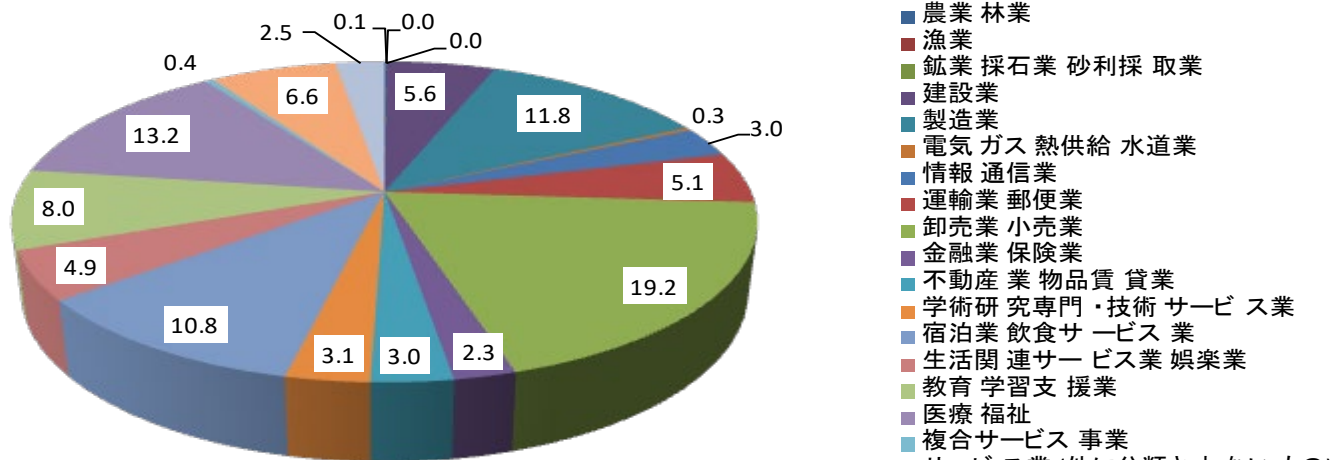
昭和15年時点での多摩地域での産業別有業者割合



n=234,276

(出典)国勢調査

参考:今日の多摩地域での業種構成



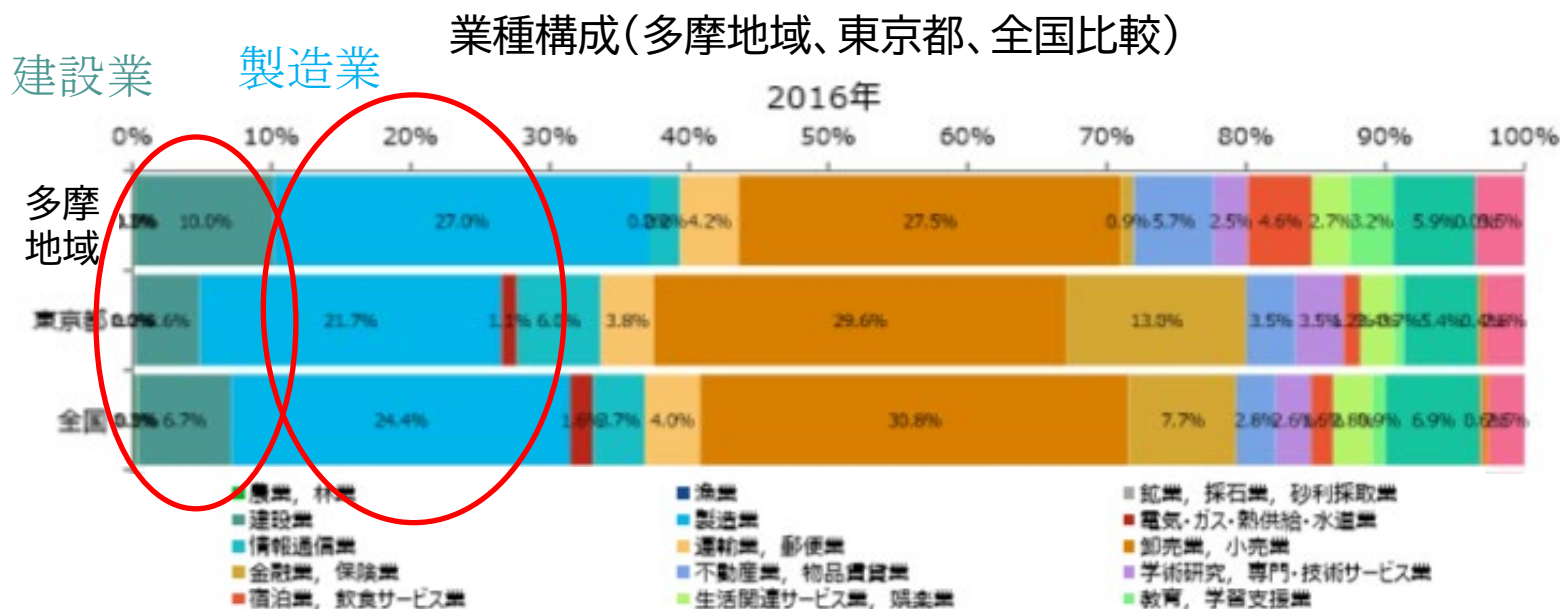
(出典)経済センサス

n=1,604,419

多摩地域の産業実態と変化

～多摩地域の産業特性(全体傾向)

- 現在の多摩地域は、第三次産業の占める割合が大きい。教育・学習支援業、宿泊業・飲食サービス業の割合が大きい。
- 東京都平均さらには全国平均と比較する「建設業」、「製造業」の占める割合が大きい。
- 第一次産業比率は全国平均でも、野菜の特化係数が高い。
- 製造業の製造品出荷額の推移は電気機械器具製造業から輸送用機械器具製造業へと変わり、情報通信機械器具製造業も上位にいる。東京都平均では印刷関連から輸送用機器へと変わってきている。
- 都市によって立地企業数が大きく異なる

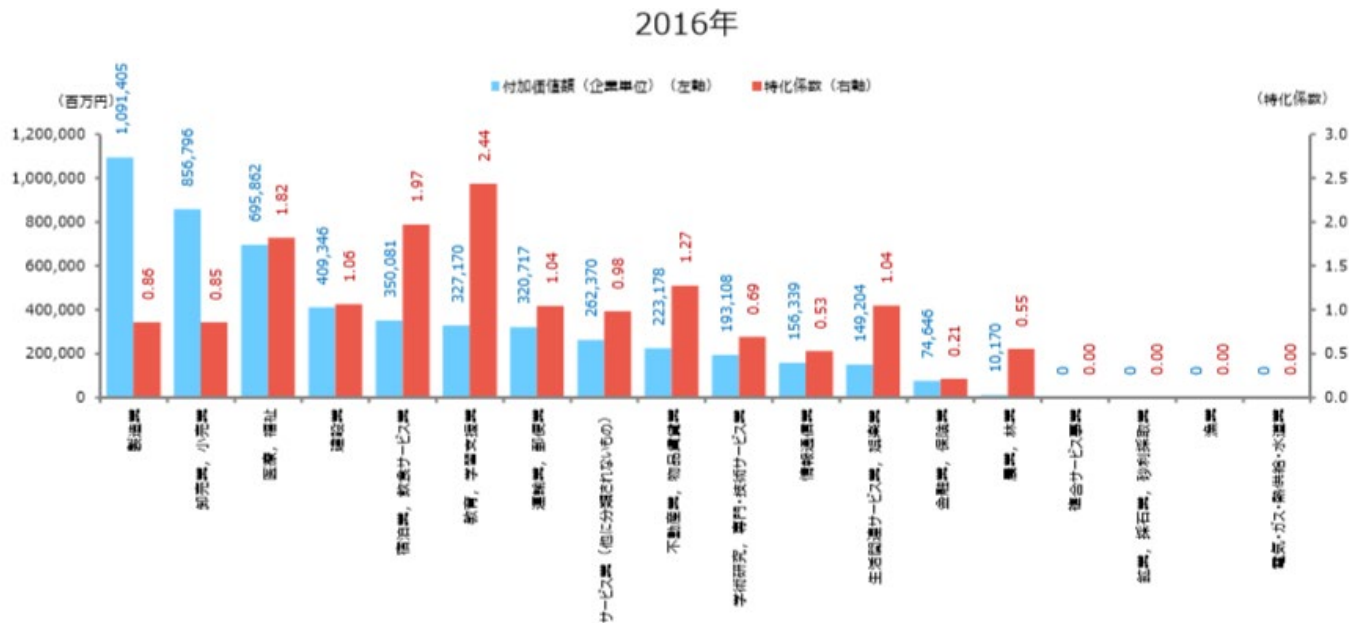


【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

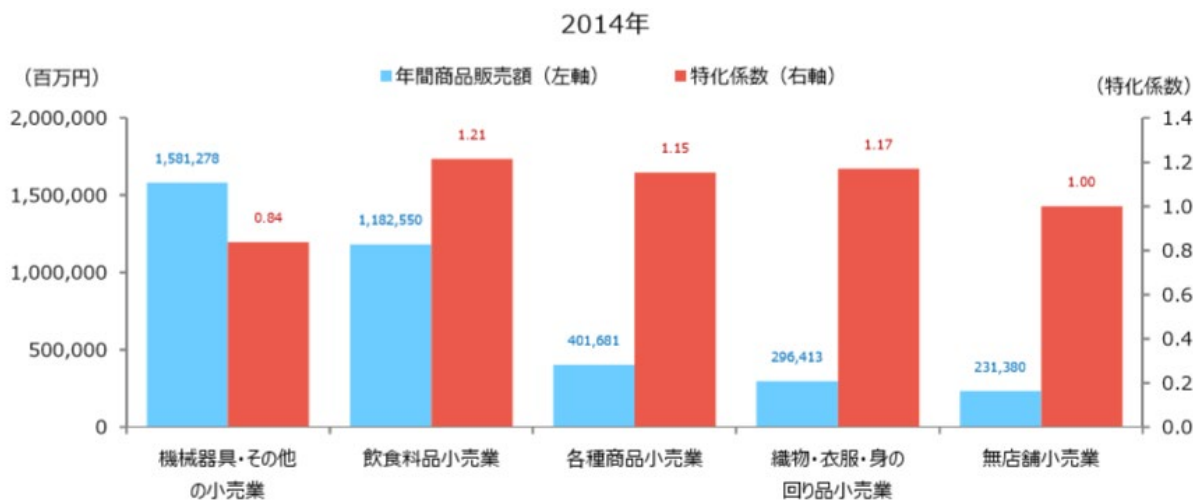
多摩地域の産業実態と変化

～多摩地域の産業特性(全体傾向)続き

産業大分類別
付加価値額と
特化係数



産業中分類別
年間商品販売額と特化係数



【出典】

経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

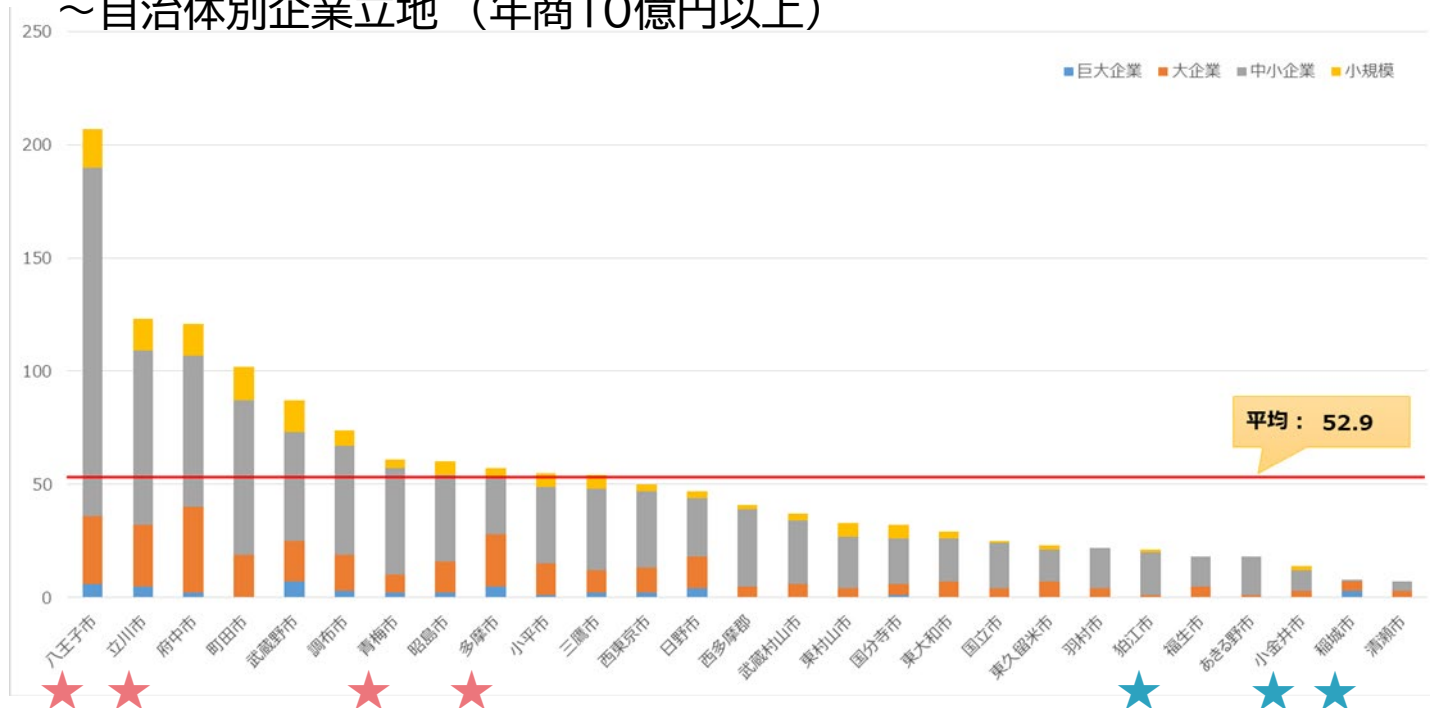


多摩地域の産業実態と変化

～昼間人口と企業立地（年商10億円以上）

昼間人口	自治体とその特性
少ない ★	狛江市→21社（23区、川崎市に隣接） 小金井市→14社（三鷹市、武蔵野市に隣接） 稲城市→8社（府中市、多摩市、川崎市に隣接）
多い ★	八王子市→207社 立川市→121社 青梅市→61社 多摩市→57社

～自治体別企業立地（年商10億円以上）



多摩地域の産業実態と変化

(単位:億円)

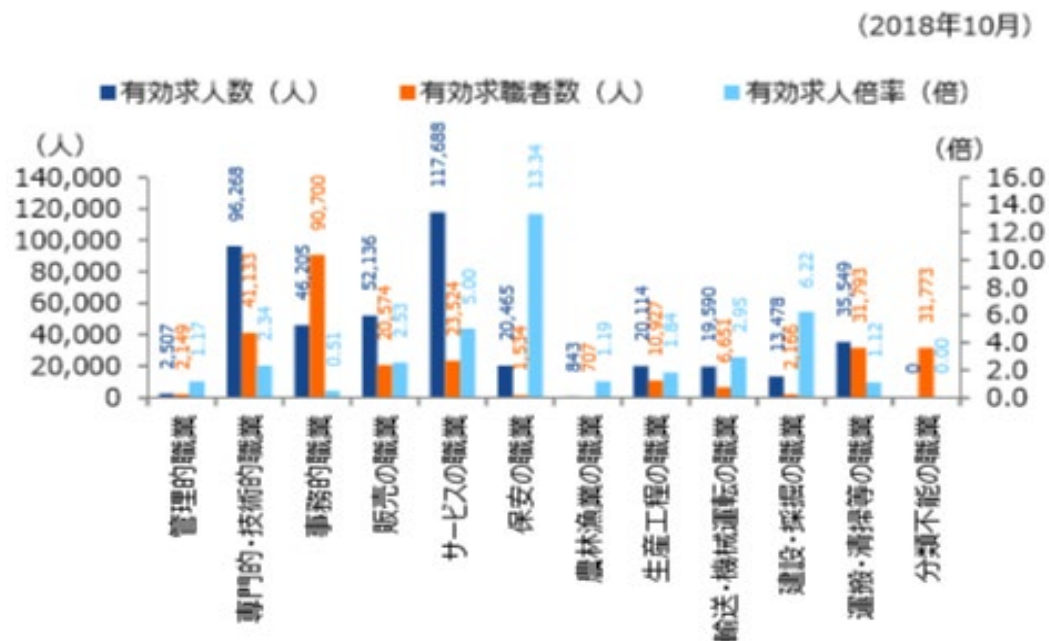
1996年			2006年			2016年		
業種	出荷額等		業種	出荷額等		業種	出荷額等	
1 電気機械器具製造業	42,156		輸送用機械器具製造業	13,685		輸送用機械器具製造業	17,451	
2 輸送用機械器具製造業	11,948		情報通信機械器具製造業	9,602		電気機械器具製造業	6,997	
3 一般機械器具製造業	4,901		電気機械器具製造業	8,279		情報通信機械器具製造業	5,563	
4 食料品製造業	3,801		食料品製造業	4,049		食料品製造業	4,391	
5 精密機械器具製造業	3,169		電子部品・デバイス製造業	4,020		電子部品・デバイス・電子回路製造業	3,120	
6 化学工業	3,043		一般機械器具製造業	3,574		生産用機械器具製造業	2,023	
7 印刷・同関連業	1,817		精密機械器具製造業	3,397		業務用機械器具製造業	1,320	
8 金属製品製造業	1,084		化学工業	2,102		印刷・同関連業	1,175	
9 その他の製造業	764		印刷・同関連業	1,416		飲料・たばこ・飼料製造業	1,051	
10 プラスチック製品製造業	759		飲料・たばこ・飼料製造業	972		化学工業	908	

【上図】

産業製造品出荷額
等の推移(10年ご
との推移)

【右図】

有効求人倍率(職
種間比較:都道府
県単位)



【出典】 厚生労働省「職業安定業務統計」

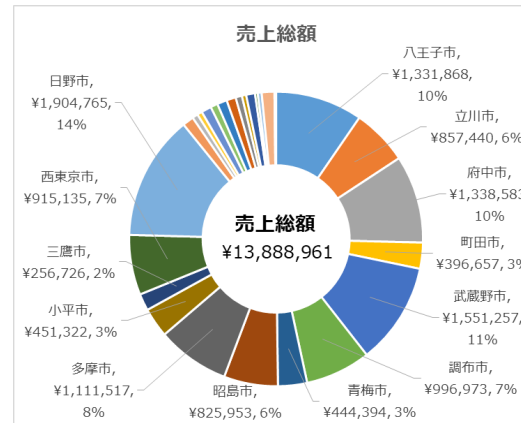
多摩地域の産業実態と変化

参考：広域多摩で活躍する優良企業
及び産業の分析

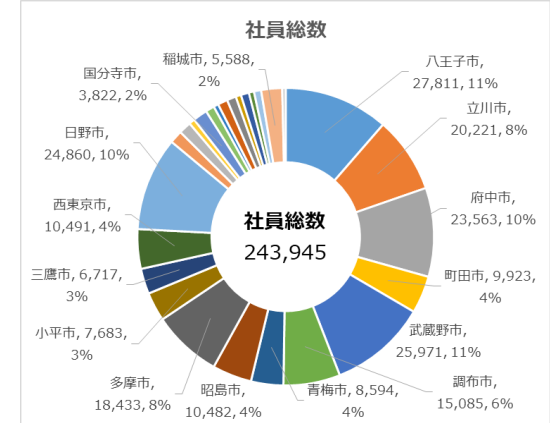
西東京を対象とした広域多摩で活躍する年商10億以上の約1400社の分析を実施（TAMA Excellent Company：対象企業は1427社）

広域多摩総合

順位	企業数	売上規模	社員数
1	八王子市	日野市	八王子市
2	立川市	武蔵野市	武蔵野市
3	府中市	府中市	日野市
4	町田市	八王子市	府中市
5	武蔵野市	多摩市	立川市
6	調布市	調布市	多摩市
7	青梅市	西東京市	調布市
8	昭島市	立川市	西東京市
9	多摩市	昭島市	昭島市
10	小平市	小平市	町田市
11	三鷹市	青梅市	青梅市
12	西東京市	町田市	小平市
13	日野市	三鷹市	三鷹市
14	西多摩郡	稲城市	稲城市
15	武蔵村山市	西多摩郡	国分寺市
16	東村山市	国分寺市	西多摩郡
17	国分寺市	国立市	武蔵村山市
18	東大和市	東久留米市	東久留米市
19	国立市	福生市	羽村市
20	東久留米市	東大和市	東大和市
21	羽村市	羽村市	福生市
22	狛江市	武蔵村山市	小金井市
23	福生市	東村山市	東村山市
24	あきる野市	狛江市	狛江市
25	小金井市	小金井市	あきる野市
26	稲城市	あきる野市	国立市
27	清瀬市	清瀬市	清瀬市



※売上総額は百万円単位



売り上げ規模別上位20社

企業名	地域	業種	規模カテゴリー	売上規模 (百万円)	売上順位	社員数 (人)
日野自動車(株)	日野市	工業	巨大企業	1,403,468	1	12,935
阪神堂(株)	府中市	商業	巨大企業	588,069	2	2,792
マニライフ生命保険	調布市	金融・保険・不動産	巨大企業	463,042	3	4,408
阪ベッセコーポレーション	多摩市	商業	巨大企業	434,400	4	2,263
阪すかいらく	武蔵野市	食品・飲食業	巨大企業	366,360	5	6,260
阪アーネストワン	西東京市	金融・保険・不動産	巨大企業	290,885	6	1,551
阪飯田産業	武蔵野市	建設業	巨大企業	256,100	7	1,030
わらべや日洋(株)	小平市	食品・飲食業	巨大企業	219,500	8	2,311
阪いぬげや	立川市	食品・飲食業	巨大企業	191,300	9	2,162
阪キューソー流通システム	調布市	サービス業	大企業	169,155	10	955
阪東栄住宅	西東京市	金融・保険・不動産	大企業	153,152	11	658
阪オザム	青梅市	サービス業	大企業	151,600	12	457
ミツミ電機(株)→ミネバ傘下に	多摩市	工業	巨大企業	148,570	13	2,536
GEヘルスケア・ジャパン(株)	日野市	工業	巨大企業	136,316	14	2,030
フォスター電機(株)	昭島市	工業	大企業	132,723	15	478
コカミルタオプト(株)→コカミルタアドバンストレイヤー	八王子市	工業	巨大企業	129,738	16	1,500
京王電鉄(株)	多摩市	サービス業	巨大企業	126,499	17	2,518
阪タチエス	昭島市	工業	巨大企業	126,400	18	1,478
タクトホーム(株)	西東京市	金融・保険・不動産	大企業	117,673	19	802
阪エコス	昭島市	商業	大企業	117,331	20	769

ヒアリング調査の状況

これまでに行ったヒアリング 実施日順に記載

- 川崎市労働局
- 愛知銀行
- 一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）
- 相模原市
- 埼玉県庁
- 経済産業省 関東経済産業局
- 株式会社アルファメディア
- 日本理化学工業株式会社
- 産業能率大学(湘南信用金庫)



ヒアリング調査の状況一例

TAMA協会

【概要】

- ・広域多摩の観点から産業の実態について学ぶ。
- ・関東エリアに立地する都市の産業活動の支援を行っている。

【ポイント】

- ・鉄道の影響により、勤務先、文化が変わる。
- ・企業は法改正の影響を受ける。
- ・多摩地域にある企業は都心の大企業のスピンアウトが多い。
- ・多摩地域で大企業が立地している地域は八王子、多摩、府中である。それぞれ思惑がある。

川崎市役所

【概要】

- ・周辺都市の立地環境と産業政策について学ぶ。
- ・研究施設が多数立地し、羽田空港へのアクセスも良い。多摩地域周辺の基盤産業がある地域の事例。

【ポイント】

- ・海側は工業地帯、内陸はベッドタウンの地域特性を持つ。
- ・羽田空港直結「キング・スカイフロント」の可能性。
- ・工場が研究施設に変わるものの地域への影響。
- ・負の印象があった工場を夜景スポットに転換した取り組み。
- ・中小企業と大企業の知財マッチングを推奨。
- ・川崎市の人口のピークは2030年。

関東経済産業局

【概要】

- ・関東地方管区内の産業振興支援の観点から学ぶ。
- ・今後の地域政策と中小企業政策をいかにターゲティングし、支援していくのか。

【ポイント】

- ・今後の多摩地域にはどのような特性の人が住むのか。
- ・多摩地域にはどのような産業が適しているか、必要か。
- ・テレワークや副業、兼業という働き方は浸透するのか。
- ・圏央道周辺には物流拠点、食品工場などが多く建設された。

今後やること

必要な調査分析の続きとそこから得られたことの整理(特に都市の変遷と産業、そして雇用)



□多摩地域を住み続けたい都市にするためには？

「産業」の視点から考察

住み続けたい都市に向けた
問題意識例

ベッドタウン活性化

より多くのファミリー層に住んでもらうべき？

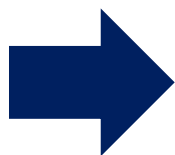
インフラを整備すべき？

地域だけで済む地域化
(労働、衣食住、娯楽)

もっと産業を活性化させるべき？

企業を誘致すべき？

研究施設を増やしていくべき？



絶賛議論中

3 スケジュール

実施項目／月	7月迄	8月	9月	10月	11月	12月
I 調査の趣旨						
II 多摩地域を知る	 文献調査、ヒアリングの実施・とりまとめ					
III 現在の産業等特性	 文献調査、ヒアリングの実施・とりまとめ					
IV 10年後の姿			 文献調査、考察・意見交換			
V 住み続けたい街の実現に向けて提案				 意見交換・とりまとめ		
研究論文			 分担執筆			
インターゼミ		基本的に毎週土曜日15:50～18:00				

中間報告
本日

最終報告

4 文献リスト

多摩地域を知る

- ・たましん歴史・美術館歴史資料室（2011）『多摩のあゆみ特集 戦時下の地域社会 その2』株式会社ぎょうせい
- ・たましん歴史・美術館歴史資料室（2010）『多摩のあゆみ特集 空中写真で地域を読み解く』株式会社ぎょうせい
- ・財団法人たましん地域文化財団『多摩のあゆみ特集 79号 特集戦時下の多摩』たましん歴史美術館出版
- ・村上直(1981)『わが町の歴史川崎』株式会社文一総合出版
- ・「京王電車」沿線地域の産業の発展 ～ 千歳烏山・調布(京王沿線)
- ・江澤隆志(2010)『知られざる軍都 多摩・武蔵野を歩く』洋泉社
- ・関満博(1995)『地域経済と中小企業』ちくま新書、他多数

多摩地域の産業実態と変化

- ・国勢調査各年
- ・経済センサス、事業所・企業統計調査各年
- ・商業統計各年
- ・公益財団法人 東京市町村自治調査会「多摩地域データブック」
- ・東京都「多摩の振興プラン」
- ・各自治体の調査報告書
- ・その他関連資料、多数